

第4学年 国語科学習指導案

平成27年1月28日（水） 2校時

1 単元名 「読んで考えたことを話し合おう」

教材名 「ごんぎつね」

2 単元の目標

- ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述をもとに想像して読むことができる。
- ・物語を読んで感じたことや考えたことを発表し合い、友達との感じ方や考え方の違いに気づくことができる。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○目的に応じ、内容の中心を捉えたり、段落相互の関係を考えたりしながら文章を読もうとしている。	○内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読している。 ○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像しながら読んでいる。 ○文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。	○言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて文や文章を読んでいる。 ○理解するために必要な語句を増やし、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。 ○指示語や接続語には、文と文の意味をつなげる役割があることを理解している。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

「物語の感想を話し合うこと」を単元を貫く言語活動に設定することで、友達との交流によって異なる考えを学び合うことを大事にしたいと考えた。生き生きとした表現が随所に見られる本教材では、想像して読むことに適した教材だと言える。言葉への意識を高め、物語の世界に浸ることで読むことの楽しさや読み広げていこうとする意欲を高めていきたいと考える。

(2) 教材文について

本教材は、いたずら好きのひとりぼっちのごんと、同じようにひとりぼっちになった兵十を中心に展開される物語である。主人公のごんは、兵十の母の死をきっかけに兵十を慰め、喜ばせようと行動するがその思いは兵十には届かない。それどころか最終的には兵十に撃たれてしまい、心を通い合えずことの難しさを描いている。児童は対比されるごんと兵十の行動に驚きと悲しみをもち読み進めていくこととなる。また、本教材はごんの視点に立ったり、兵十の視点に立ったりして考えることで、登場人物の心情や心の揺れ動き、場面の移り変わりを読むことができる。独話や心内語などを用いて登場人物の心情が描かれ、更には美しい情景描写があるなど生き生きとした表現が随所に見られるため、想像豊かに読み進めていくことができる教材だと言える。

5 研究主題に迫るために（学習活動の工夫）

- (1) 4つの思考の型を取り入れた言語活動
- (2) 「物語文を読む10の観点」の活用
- (3) 板書の工夫・学習環境の工夫

・学習の振り返りができるように、模造紙に書いて教室に掲示し、以前の学習内容を振り返ることができ

るようにする。

(4) 発問の工夫

- ・児童が叙述を根拠に想像できるよう、視点をしばって発問する。

(5) ワークシートの工夫

- ・一単位時間ごとにワークシートを用意し、考える場面を限定することで、児童が課題に取り組みやすくなるようにした。また、サイドラインを引くための本文と自分の考えを書き込むスペースを一体化させることで、叙述に基づいて自分の考えがもてるようにする。

6 学習指導計画 (全10時間)

次	時	ねらい	主な学習活動と4つの思考	評価規準・方法
1	1	全文を読んで初発の感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・物語が6つの場面から構成されていることをとらえ、中心人物がごんと兵十であることをつかむ。 ・心に残ったことを中心に感想を書く。 	<p>【関】物語を想像しながら、心に残ったことを感想に書いている。</p> <p>(発表・ワークシート)</p>
	2・3	物語の大体をつかむ。	<p>物語のあらすじをとらえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10の観点に基づき、物語の構成を捉える。 	<p>【読】物語のあらすじをつかみ、ワークシートにまとめている。(ワークシート)</p>
2	4	第一場面からごんの性格といたずらする心情を読み取る。	<p>いたずらするごんの性格が表れているのはどこだろう (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごんの性格が表れている所にサイドラインを引く。【選択】 <p>ごんの性格が最も表れているのはどこだろう (第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景描写から、ごんの性格を読み取る。【類推】 <p>(言葉の力)「あなの外の草の葉の上にのせておきました」情景から心情を想像させる文。</p>	<p>【読】ごんの性格や気持ちの変化、情景を読み取っている。</p> <p>(発表・ワークシート)</p>
	5(本時)	第二場面を読み、いたずらしたことを後悔するごんの心情を読み取る。	<p>ごんが後悔することになった背景を読み取ろう (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の様子がいつもとちがうことを想像するごんの様子にサイドラインを引く。【選択】 <p>後悔するごんの気持ちを想像しよう (第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心内語(「」で表されたごんの想像)からごんがいたずらを後悔している様子を捉える。【比較】 <p>(言葉の力)「ちがいない」「だろう」推測を示す表現</p>	<p>【読】「ちがいない」という言葉からいたずらしたことを後悔するごんの気持ちを読み取っている。</p> <p>(発表・ワークシート)</p>
	6	第三場面を読み、ごんの行動に表れた心情の変化を読み取る。	<p>償いをするごんの行動を読み取ろう (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごんの償いの行動にサイドラインを引く。【選択】 <p>ごんは何をしまったと思ったのだろう (第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つぐないのはずが、ひどいめにあわせてしまったことを捉える。 <p>【類推】</p> <p>(言葉の力)「しまった」気持ちが端的に表わされている言葉</p>	<p>【読】置き方の違いによるごんの行動に表れた気持ちの変化を読み取っている。</p> <p>(発表・ワークシート)</p>

7	<p>第四、第五場面を読み、兵十と加助の会話を聞くごんの心情を読み取る。</p>	<p>後をつけて行くごんの心情を読み取ろう (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごんの心情が分かる行動にサイドラインを引く。【選択】 <p>ごんの落ち込む気持ちが最も強く表されているのはどこだろう (第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も強く表れている表現を探し、その意味を考える。【類推】【関係付け】 <p>(言葉の力) 「引き合わない」 落胆の表現</p>	<p>【読】兵十と加助の会話を聞くごんの行動や情景から、ごんの気持ちを読み取っている。</p> <p>(発表・ワークシート)</p>
8	<p>第六場面を読み、ごんと兵十の気持ちを想像して読む。</p>	<p>ごんと気付いた兵十の気持ちを想像しよう (第一課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くりやまつたけをくれたのはごんだと気がついた兵十の心情とようやく気付いてもらえたごんの心情を想像する。【類推】 <p>最後の一文はどのような意味をもっているのだろうか (第二課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の一文の意味を考え、その効果について理解する。【類推】 <p>(言葉の力) 余韻の表現</p>	<p>【読】兵十の行動から気持ちが移り変わっていく様子を読み取っている。</p> <p>(発表・ワークシート)</p>
3	<p>「ごんぎつね」の学習を終えて、感じたことを話し合う。</p>	<p>感じたことを一文で表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごんぎつねは・・・な話だと思った。」という文型から、考えた理由を明らかにして感想をまとめる。 <p>感じたことを交流しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を読んでまとめた自分の感想をペアやグループで交流し、一人一人の感じ方の違いに気付く 	<p>【読】文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。</p> <p>(観察)</p>

7 本時の指導（5／10時）

（1）本時の目標

- ・「ちがいない」という言葉からいたずらしたことを後悔するごんの気持ちを読み取ることができる。

（2）展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入	1 10の観点から第二場面を確認する。 2 本時の課題を知る。		
	ごんが後悔することになった背景を読み取ろう（第一課題）		
展開	3 第二場面を黙読する。 ・ごんの後悔を想像しながら黙読する (1) 村の様子がいつもと違うことに気が付く ごんの行動や心情にサイドラインを引く 【選択】 (2) 情景や村の様子から、ごんの理解の変容をまとめりとして整理する。	○村の様子がいつもと違うと分かるごんの様子や情景にサイドラインを引かせる。 ○物語が進むに連れ、事実が整理され、後悔する心情が高まっていく様子を意識づける。	【読】 内容の中心や場面の様子がよく分かるように黙読している。 (観察) 【読】 読むべき叙述に気付きサイドラインを引くことができる。 (ワークシート)
	後悔するごんの気持ちを想像しよう（第二課題）		
	4 穴の中で考えるごんの気持ちを想像する。 (1) 心内語からごんがいたずらを後悔している様子を捉える。 【比較】 (2) 「ちがいない」「だろう」に着目し、他に推測をする言葉と比較する。 <言葉の力> 「ちがいない」「だろう」は推測を示す表現	○「ちがいない」には、強い思い込みや本人の意識が限定されていることに気付かせる。	【読】 「ちがいない」「だろう」という言葉からいたずらしたことを後悔するごんの気持ちを読み取っている。 (発表・ワークシート)
まとめ	5 本時の学習の振り返りをする。 ・本時の学習を振り返りながら、第二場面を範読する。 6 既習の教材文にも、同じ効果のある文章があることを知る。	○ごんの後悔する気持ちや美しい情景描写等、生き生きとした表現にも目を向け、範読を聴かせる。	